

# 対馬海上保安部長挨拶

対馬海上保安部のHPにアクセスして頂きありがとうございます。

皆様におかれましては、常日頃から海上保安業務へのご理解とご支援を頂き、誠に有り難うございます。これからも、このホームページを通じて、海に関する様々な情報を発信し、皆様のお役に立てればと考えております。

対馬は、九州本土に比べて半分以下の距離に朝鮮半島が所在する国境の島であり、重要な産業の基盤となる好漁場を有した豊かな海に囲まれ、所謂国際海峡で交通の要衝である対馬海峡に挟まれた地理的環境となっております。また、島内外を繋ぐ海上交通は島を支える大動脈となっております。この対馬の海をしっかりと護り、海域を保全するのが対馬海上保安部の重要課題の一つと考えております。

対馬市の皆様をはじめ海域を利用される方々に、安全・安心に利活用頂けるよう、安全で美しい対馬の海を護るため、対馬海上保安部・巡視船らいざん・巡視船あさじ・巡視艇なつぐも、比田勝海上保安署・巡視艇はやぐも・巡視艇あきぐもの職員が一丸となって、一所懸命取り組んで参ります。

海上保安官の活動の場は専ら洋上のため、日頃皆様と接する機会は少ないですが、前述のとおり、通年昼夜を問わず不断の対応に取り組んでおりますことをご理解賜ればと考えております。

これから冬季を迎え、一層気象・海象条件が厳しくなりますが、引き続き、漁船等の小型船舶の事故防止対策やライフジャケット着用の呼びかけを行うほか、

- “海の安全情報”による情報提供
- 海難防止運動(対馬やまねこプラスニアン運動)
- テロ及び犯罪の未然防止

などの諸活動を通じて、対馬の海の安全・安心を護るべく取り組んで参ります。

また、新型コロナウイルス感染症への備えにも関係機関と連携し的確に取り組んで参りたいと考えております。

引き続き、対馬市の皆様をはじめ対馬に所在する関係機関等の皆様と緊密に連携・協力して参りたいと考えておりますので、対馬海上保安部及び比田勝海上保安署へのご支援ご協力を宜しくお願い致します。

令和2年11月  
対馬海上保安部長  
さいしよ  
税所 百年

